

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 福岡財務支局長

【提出日】 平成26年8月6日

【四半期会計期間】 第43期第1四半期(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

【会社名】 イフジ産業株式会社

【英訳名】 Ifuji Sangyo Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤井 宗徳

【本店の所在の場所】 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200番地の1

【電話番号】 092-938-4561(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 原 敬

【最寄りの連絡場所】 福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原200番地の1

【電話番号】 092-938-4561(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 原 敬

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第1四半期 連結累計期間	第43期 第1四半期 連結累計期間	第42期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	2,599,668	3,173,123	12,650,287
経常利益 (千円)	182,685	105,938	365,831
四半期(当期)純利益 (千円)	124,952	73,030	235,855
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	124,989	73,786	240,203
純資産額 (千円)	3,769,003	3,823,681	3,816,657
総資産額 (千円)	7,913,104	8,436,379	8,044,265
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	14.99	8.76	28.30
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	47.6	45.3	47.4

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税の増税による反動から個人消費の低迷が見られたものの、政府の経済政策等により株価の上昇や企業の雇用環境の改善が図られ、国内景気は緩やかに回復の気配が見られました。

食品業界におきましては、円安や消費税の増税等の影響により物価が上昇しており、消費者の生活防衛意識が強まることが予想され、依然として予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、鶏卵関連事業において販売数量が増加したこと等により、前年同期比22.1%増の3,173百万円となりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業において原料買付単価が上昇したこと等により、営業利益は同42.2%減の99百万円、経常利益は同42.0%減の105百万円、四半期純利益は同41.6%減の73百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、販売価格及び原料仕入価格が相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は売上高、仕入高とも増加し、低く推移した場合は売上高、仕入高ともに減少する傾向にあるため、販売価格と仕入価格の差益を一定にする努力をしております。

当セグメントの売上高につきましては、販売数量が前年同期比5.2%増加したことや鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比27.5%（約45円）高く推移したこと等により、液卵売上高は前年同期比27.6%増の2,730百万円となりました。また、加工品売上高は同9.3%減の98百万円、その他売上高は同12.3%増の63百万円となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の合計の売上高は、同25.5%増の2,892百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に加工用原料卵が不足していることに伴い、原料買付単価が上昇したことにより、前年同期比48.6%減の73百万円となりました。

調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、主に既存商品の販売が減少していることから、前年同期比5.1%減の268百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に売上高の減少の影響により、前年同期比8.9%減の21百万円となりました。

その他

当セグメントにつきましては、売上高は前年同期比0.1%増の11百万円となり、セグメント利益は同18.3%減の4百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は8,436百万円となり、前連結会計年度末に比べ392百万円増加しました。

流動資産は4,425百万円となり前連結会計年度末に比べ327百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加411百万円、商品及び製品の増加174百万円、受取手形及び売掛金の減少262百万円等によるものであります。

固定資産は4,011百万円となり前連結会計年度末に比べ64百万円増加しました。主な要因は、機械装置及び運搬具の増加30百万円及び土地の増加17百万円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は4,612百万円となり、前連結会計年度末に比べ385百万円増加しました。

流動負債は2,861百万円となり前連結会計年度末に比べ95百万円増加しました。主な要因は、未払法人税等の増加34百万円、未払消費税等の増加20百万円等によるものであります。

固定負債は1,751百万円となり前連結会計年度末に比べ289百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加295百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は3,823百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益73百万円の計上及び配当金の支払い66百万円により利益剰余金が6百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.4%から45.3%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は39百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,792,000
計	16,792,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年8月6日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,345,370	8,345,370	東京証券取引所 (市場第二部) 福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	8,345,370	8,345,370		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日		8,345,370		455,850		366,322

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 12,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,228,500	82,285	
単元未満株式	普通株式 104,070		
発行済株式総数	8,345,370		
総株主の議決権		82,285	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式47株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) イフジ産業株式会社	福岡県糟屋郡粕屋町 大字戸原200番地の1	12,800		12,800	0.15
計		12,800		12,800	0.15

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,313,268	1,724,836
受取手形及び売掛金	1,959,311	1,696,575
商品及び製品	394,068	568,406
仕掛品	41,169	42,848
原材料及び貯蔵品	294,034	307,336
繰延税金資産	15,673	38,882
その他	84,821	51,462
貸倒引当金	5,316	5,322
流動資産合計	4,097,031	4,425,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,045,967	1,026,107
機械装置及び運搬具（純額）	516,681	546,736
土地	2,069,143	2,086,404
その他（純額）	100,777	115,041
有形固定資産合計	3,732,569	3,774,288
無形固定資産	11,542	16,780
投資その他の資産		
投資有価証券	61,549	62,883
繰延税金資産	120,942	122,432
その他	33,113	47,446
貸倒引当金	12,483	12,477
投資その他の資産合計	203,121	220,284
固定資産合計	3,947,233	4,011,353
資産合計	8,044,265	8,436,379

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	567,175	549,159
短期借入金	1,702,882	1,647,312
未払法人税等	24,872	59,165
未払消費税等	2,365	22,672
賞与引当金	57,577	37,803
役員賞与引当金		4,750
その他	411,229	540,782
流動負債合計	2,766,101	2,861,645
固定負債		
長期借入金	824,408	1,119,950
負ののれん	18,169	12,113
長期未払金	567,235	567,235
繰延税金負債	29,717	29,835
その他	21,975	21,918
固定負債合計	1,461,506	1,751,052
負債合計	4,227,608	4,612,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,850	455,850
資本剰余金	366,327	366,327
利益剰余金	2,990,718	2,997,088
自己株式	5,232	5,334
株主資本合計	3,807,663	3,813,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,993	9,749
その他の包括利益累計額合計	8,993	9,749
純資産合計	3,816,657	3,823,681
負債純資産合計	8,044,265	8,436,379

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,599,668	3,173,123
売上原価	2,062,640	2,683,092
売上総利益	537,027	490,031
販売費及び一般管理費	364,205	390,195
営業利益	172,822	99,835
営業外収益		
受取利息	325	134
受取配当金	126	106
負ののれん償却額	6,056	6,056
受取賃貸料	1,573	1,405
貸倒引当金戻入額	3,500	
その他	2,919	3,452
営業外収益合計	14,502	11,155
営業外費用		
支払利息	4,639	5,053
営業外費用合計	4,639	5,053
経常利益	182,685	105,938
特別損失		
固定資産除売却損	49	
特別損失合計	49	
税金等調整前四半期純利益	182,635	105,938
法人税、住民税及び事業税	55,314	57,622
法人税等調整額	2,367	24,713
法人税等合計	57,682	32,908
少数株主損益調整前四半期純利益	124,952	73,030
少数株主利益		
四半期純利益	124,952	73,030

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	124,952	73,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	756
その他の包括利益合計	36	756
四半期包括利益	124,989	73,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,989	73,786
少数株主に係る四半期包括利益		

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
減価償却費	51,369千円	52,594千円
負ののれん償却額	6,056千円	6,056千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	83,342	15	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月26日 定時株主総会	普通株式	66,660	8	平成26年3月31日	平成26年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,304,670	283,514	2,588,184	11,483	2,599,668
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	2,304,670	283,514	2,588,184	11,483	2,599,668
セグメント利益	143,710	23,633	167,343	5,479	172,822

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	167,343
「その他」の区分の利益	5,479
四半期連結損益計算書の営業利益	172,822

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,892,745	268,887	3,161,633	11,490	3,173,123
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	2,892,745	268,887	3,161,633	11,490	3,173,123
セグメント利益	73,834	21,523	95,357	4,478	99,835

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	95,357
「その他」の区分の利益	4,478
四半期連結損益計算書の営業利益	99,835

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	14円99銭	8円76銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	124,952	73,030
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	124,952	73,030
普通株式の期中平均株式数(株)	8,334,230	8,332,471

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8 月 5 日

イフジ産業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高 司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 只 隈 洋 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイフジ産業株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イフジ産業株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。